

高齢者交通安全ニュース

令和3年1月号

令和3年1月27日
埼玉県警察本部交通総務課



令和2年中の交通事故死者数は121人(前年比-8人) ～高齢者は61人(前年比-2人)～

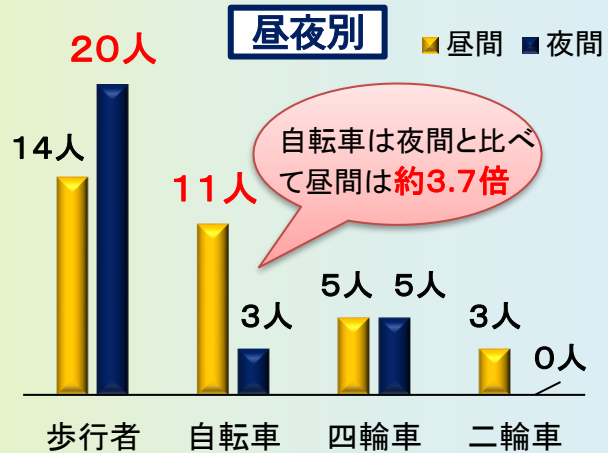
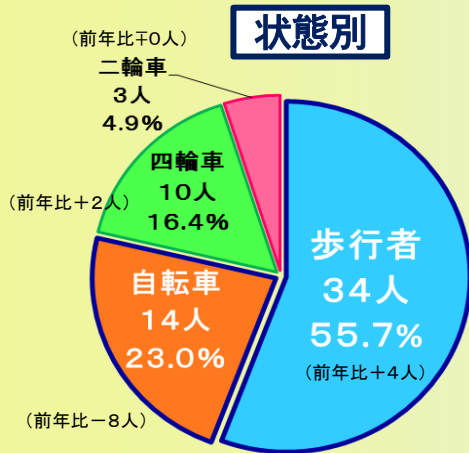
令和2年中の埼玉県の交通事故死者数は121人(前年比-8人)で、**昭和29年以降で最少数**となりました。

年齢層別では、65歳以上の高齢者が61人(前年比-2人)と最も多く、全体の50.4%(前年48.8%)と半数を占めました。

高齢死者数全国順位(令和2年中)

	県名	高齢死者数	全死者数
1	愛知	80人	154人
2	千葉	74人	128人
3	北海道	68人	144人
4	兵庫	65人	110人
6	埼玉	61人	121人
	全国	1596人	2839人

高齢者死亡事故の特徴(令和2年中)



約8割(78.7%)が歩行中と自転車乗用中に発生しており、歩行者は34人(前年比+4人)、自転車は14人(前年比-8人)でした。

昼夜別では、**歩行者は夜間・自転車は昼間**に多発しています。

横断歩道は歩行者優先です！

埼玉県では道路交通法第38条「歩行者優先義務」を遵守して模範運転を励行する取り組み「KEEP38プロジェクト」を推進しています。

ドライバーの皆さん、歩行者保護の気持ちを心に、模範運転をお願いします！



KEEP38プロジェクト推進中